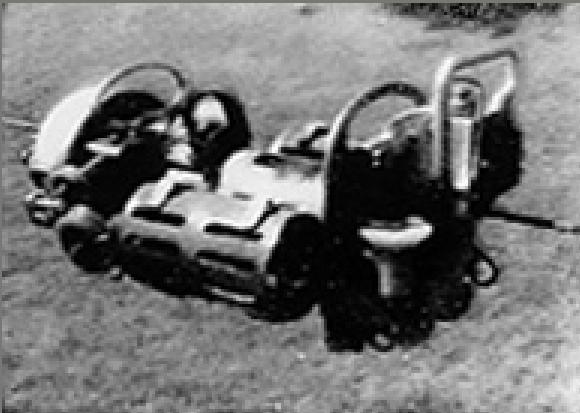


ラッシング工法

Lashing method

ラッシングマシンを使用して宙乗り作業なしでケーブル架渉を行う工法である。ラッシングマシンが繰り出すケーブル巻付線によって、吊線とケーブルを螺旋状に、自動的に固縛できる工法であり、1964年に検討を開始し、1976年に導入した。



宙乗り器

Midair work apparatus

架空ケーブル線路の柱間部分におけるケーブルのハンガ掛けや障害点探索などの作業に使用する道具である。作業者は、左右に付いている滑車をケーブル吊線に掛け、板台に腰を下ろし、バンドを背中にあてて寄りかかるようにしながら作業を行う。移動する場合は、地上の作業者が綱で移動させる。

